

議員説明会 会議録

1 開催日時

令和7年2月19日（水曜日） 午前10時00分 ～ 午前10時40分

2 件名

令和7年度一般会計予算等について

3 議事録

（岩間総合政策部長）

ただいまから、議員説明会をはじめさせていただきます。

本日の案件につきまして、（1）令和7年度一般会計予算等についてから説明をさせていただきます。

それでは上田市長から予算の概要を説明いたします。

（上田市長）

令和7年度の花巻市予算（案）につきまして、御説明いたします。

令和7年度予算で目指す姿として、「公共交通の充実・生活基盤の整備拡充・長寿命化と子育て支援を進め 市民が安心し、笑顔で暮らせるまち」を掲げ、花巻がさらに魅力ある市となることを目指し、編成させていただきました。

これを具現化するために、第2次花巻市まちづくり総合計画の前期アクションプランに掲げるまちづくり分野ごとの主要な施策を展開するため、「市民の暮らしを守る 多彩な支援策で 安心のまちづくり」、「子ども・子育て応援プロジェクト」「花巻で暮らそうプロジェクト」の3つの柱について重点的に取り組むことといたしました。

まず初めに、令和7年度の重点予算「市民の暮らしを守る 多彩な支援策で 安心のまちづくり」についてであります。

「1 市民の暮らしを守るための取組」の1点目、公共交通を充実して市民の交通手段を守るため、市民の移動手段として欠くことのできない、幹線バス路線への支援、岩手医大などの医療機関へのバス運行、土沢線などコミュニティバスの運行を継続します。さらに市民の利便性を向上するため、大迫、石鳥谷、東和地域の予約乗合バスの運行日数を、週3日運行から週5日運行に拡大するほか、大迫・花巻線については、花巻空港を経由するルートに変更します。

さらに、交通手段をもたない高齢者や障がい者の方々の通院や買い物を支援するため、予約乗合交通に加えて、タクシー等助成券の給付と、医療機関までの通院に対する助成制度についても引き続き実施します。

2点目は、市民一人一人の心身の健康を守るため、地域医療の中核を担う医療機関の医

師を確保することが重要でありますことから、新たに医師が就職した場合の就職支援金の給付、養育している子の保育料、家賃、交通費、奨学金返還に対する支援や、病院が医師紹介事業者に支払う紹介手数料、医師の研修に要する費用に対する支援を予算化いたします。

また、がん患者が使用する医療用補整具の購入費については、新たに弾性着衣を対象に加え、より一層がん患者の方々に寄り添います。

3点目は、鳥獣被害から市民の命を守るため、市街地等に出没する熊への対応にあたる有害鳥獣対策推進員を1名増員し、2名体制にするほか、熊の隠れ場所となる河川や市街地等の草刈りを今まで以上に実施するなど、人里への熊の侵入を未然に防ぐための取組を強化します。

4点目は、物価高騰から市民の暮らしを守るため、市の負担による保育所等の副食費支援、学校給食費の材料高騰分の保護者負担据置のほか、経営環境が厳しい畜産農家を守るため、飼料等の物価高騰対策を引き続き行います。

5点目は、公共施設の長寿命化対策で市民の安全と利便性を守るため、老朽化が進んでいる公共施設の長寿命化対策と併せて、近年の猛暑対策を含めた空調設備の設置、照明設備のLED化、トイレの洋式化などの整備を加速します。

これについては、先ほど目指す姿として「長寿命化」ということを載せておりますが、今回の予算については、そのような予算に多く配分しております。

続きまして「2 生活基盤の強化の取組」の1点目、生活基盤の充実を図るため、生活道路・橋梁については、安全で快適な道路網を構築し、また維持するため、国の補助制度や地方債を活用しながら、引き続き整備を進めます。

2点目は、災害に強いまちづくりであります。地震や頻発する豪雨災害に備えるため、今盛岡で整備中であります消防指令センター整備、そしてトイレカーの新規購入などハード面の充実を図るとともに、各種の防災訓練を開催するなど、ソフト面での備えも充実させます。

また、重要なインフラのひとつでもあります下水道については、今話題になっているところではありますが、花巻では重要施設に接続する管路や、例えば病院が入ります。そのような管路や、処理場等の耐震診断を実施します。

3点目は、河川空間とまち空間が融合したまちづくりであります。北上川河川敷の利用環境の向上を図るため、市民によるワークショップを開催しておりましたが、「かわまちづくり計画」を国に対して申請し、令和7年8月に登録されることを目指しております。この計画に基づく事業を実施していくために必要な測量調査に着手します。

次に、「子ども・子育て応援プロジェクト」についてであります。

プロジェクトの総額は、８８億３，１５２万円を計上いたしました。

本プロジェクトに関する予算を多数計上していますが、特に重要な事業についてご紹介いたします。

１点目は、周産期医療の維持確保であります。妊産婦への交通費支援や市内産科医療機関へ就職する医師・助産師・看護師に対する支援を継続し、岩手県立中部病院を含めて、市内の周産期医療の維持確保に努めます。

県立病院は県の医療局の管下にあります。大変大きな赤字を計上しており、当初予算の段階で２３０億円の繰入金を計上したほかに、今年度については９０億円の赤字が見込まれる大変厳しい状況であると認識しておりますが、この県立病院の維持確保が大変重要であることは、県に対してもお話ししていきたいと考えております。

また、産後ケア事業、産前・産後サポート事業については、新たに宿泊型の産後ケアサービスの導入に向け、提供すべきサービスの内容やその提供に必要な施設の構想等の検討を進めてまいります。

２点目は、子ども医療費助成等支援であります。所得制限を設けることなく、高校生までの全ての子どもと、全ての妊産婦を対象とした医療費助成を継続します。

３点目は、５歳児健康診査の検討であります。５歳児健康診査を早期に実施したいと考えておりますが、それに向けて小児科等を含めて関係機関等との検討を行います。

４点目と５点目は、保育園等副食費、学校給食費などの負担軽減であります。保育園等の３歳以上の副食費については、第２子以降の無償化を継続します。

また、食材料費などの物価高騰分を保護者負担に転嫁させないため、物価高騰分を市が負担し、この金額は米の値段が上がっていることもありまして、今年度よりも多額になりますが、市が負担し、保育園等副食費、学校給食費の保護者負担を据え置きます。

なお、市は国に対しては小中学校の給食費の国庫負担、国による無償化をすべきだということを何度も要望しております。与党のみならず野党の国会議員に対してもそのような要望をしてきているところであります。それについては、今話合われておりますが、どうなるかは分からない状況でありますので、市としては予定どおり保護者の負担を据え置くため予算を措置しているところであります。

なお、０歳から２歳の保育園等の保育料についても、市が独自に国の基準の４０パーセント程度を引き下げ、これを市が負担しまして、子育て世帯の負担を下げて、子育て世帯に対する経済的支援を引き続き行います。

６点目は、日本学生支援機構奨学金返還支援制度の創設であります。

市では「はなまき夢応援奨学金」、「ふるさと奨学生定着事業補助金」など奨学金返還に対する支援制度を多数実施してまいりましたが、介護士等、職業によっては別として、一般の学生についての日本学生支援機構の貸与型奨学金の返還についての対する補助制度は無かったことから、今回、日本学生支援機構の貸与型奨学金制度を利用して大学へ進学

し、卒業後に市内へ定住し、市内企業へ就職した若者に対して、申請年度内に返還した奨学金返還額の2分の1以内、月額上限1万円を補助する制度を創設します。

これにより、将来的に花巻で暮らし、花巻で働きたいと希望する若者の大学等への進学を応援するわけでありますが、若者の花巻市への定住を図ること、花巻市の企業に就職していただくということを支援してまいります。

7点目は、保育環境の整備であります。「(仮称)ゆもとこども園」、「若葉保育園」の整備に対し支援を行います。なお、両園とも令和8年4月に新しい園舎での保育開始を目指していると伺っておりまして、令和7年度の整備について支援するものでございます。

8点目と9点目は、多子世帯加算制度の継続であります。子育て世帯住宅取得奨励金、定住促進住宅取得等補助金ともに、18歳未満の子どもが複数いる場合には、2人目以降一人につき10万円を加算する制度を継続します。

また、令和7年度当初予算ではなく令和6年度補正予算の事業になりますが、大学への入学や就職を控える子育て世帯を支援するため、令和6年度末に18歳となる児童を監護する世帯に対し、児童一人あたり2万5,000円を令和6年度末までに支給します。

なお、中学生、高校生に対する国による児童手当の給付を見たうえで、支援が充分でない高校3年生、卒業する方々に限ってこのような支援を今回させていただくということでございます。

つづきまして、「花巻で暮らそうプロジェクト」であります。
プロジェクトの総額は24億8,601万円であります。

1点目です。日本学生支援機構奨学金返還支援制度については、先ほどご説明したとおりであります。

2点目のJR花巻駅東西自由通路等の整備であります。利便性の高い都市基盤を整備するため、東西自由通路整備については、令和6年度から着手している実施設計を令和7年度に完了させ、用地の測量調査を行います。

西口駅前広場整備については、実施設計及び駐輪場の移転整備工事に着手します。

なお、令和7年度の事業については、国の補助金の交付を受けるということを前提として予算化しております。

3点目は、空き家バンク制度等による住宅取得支援であります。39歳以下の若者世代や県外からの転入者が空き家バンクに登録されている物件を取得した場合に、子育て世帯等の状況に応じた30万円もしくは50万円の奨励金や、空き家のリフォームに対する補助制度を引き続き行います。

また、空き家及び空き店舗を解体後、その跡地に新築した場合に最大100万を補助する空家等解体活用事業補助金も継続します。

4点目と5点目は先ほど「子ども・子育て応援プロジェクト」の8点目と9点目で説明したとおりでありますので、説明を省略いたしまして、

6点目は、地域おこし協力隊空き家改修補助金であります。地域おこし協力隊員が任期終了後、市内に定住して、活躍することを後押しするため、取得した空き家の改修経費について、一人あたり200万円を上限に補助する制度を継続します。

7点目の、いきいき岩手結婚サポートセンター登録料負担金については、県、市町村、民間団体等との連携により実施している「iーサポ」へ新規加入される方の入会金を市が負担する制度を創設し、婚活を後押しします。

なお、iーサポについてはあまり目立っておりませんが、一定数の方々が利用されておりますので、やはり婚活支援として効果があると判断いたしまして、入会金への負担制度を作りたいと考えたものであります。

8点目は、産業団地の整備であります。市内への企業立地を促進するため進めている花南産業団地のB工区の造成工事が完了するほか、A工区とC工区についても引き続き整備を進めます。

これについては、B工区で既に売却が決まっているところもありまして、A工区とC工区の整備を進めることについては、売却できるまでは市の負担になるわけではありますが、やはり体制を整える必要があることからA工区、C工区についての整備も進めたいと考えている次第であります。

9点目は、UIJターン者就業奨励金の継続、移住支援金の拡充であります。県外から移住、就業した方に対し、最大25万円を支給する市単独事業のUIJターン者奨励金を継続します。

移住支援金については、主に東京圏からの移住者が、就労など様々な条件を満たした場合に、世帯の状況に応じ、単身世帯の場合では60万円、2人以上の世帯の場合には100万円、さらに18歳未満の子どもがいる場合には一人あたり100万円を支給しております。このほか、東京圏内の大学に通う大学生が県内の企業に就職し、市内へ転入する際の移転費用に対する補助を新たに行います。

以上が主要な事業の説明でございます。

次に、花巻市の令和7年度一般会計予算案の内訳につきまして説明をいたします。

総額は昨年度に引き続き過去最大を更新し「581億7,862万円」といたしました。

これは令和6年度当初予算と比較いたしますと、「30億2,530万円の増」、率にして「5.5%の増」とするものであります。

このうち、普通建設事業費は「７７億１８２万円」で前年度当初予算対比「１７億４９８万円増」となりましたが、金額順に庁舎設備等改修事業や保育施設環境整備支援事業、消防指令業務共同運用事業、文化会館施設改修事業、ＪＲ花巻駅東西自由通路等整備事業などの増が主な要因であります。

また、義務的経費でもあります、人件費が「５億３，０３０万円増」、扶助費が「５億５，４６６万円増」となっておりますが、人件費については、令和６年人事院勧告等に伴う増、扶助費については、児童手当の増が主な要因となっておりまして、国の制度改正によるものが影響しております。

また、歳入の自主財源が３９．８パーセントとなっておりますが、普通建設事業や扶助費など、国県支出金や市債など有利な財源確保に努め、積極的に予算編成を行った結果、前年度に比べ０．４パーセント低くなっております。

市債の発行額は「４２億１，３９０万円」の見込みで前年度当初予算対比「１０億５，２１０万円の増」となります。

なお、国の令和６年度補正予算において本市に対する国庫補助金の配分の通知をいただいた小学校施設維持事業などの３事業、総額「２億５，３４４万円」については、令和７年度当初予算ではなく、令和７年第１回定例会に上程する令和６年度補正予算案（第１４号）へ前倒して予算措置し、令和７年度予算と一体で事業を実施します。

令和７年度一般会計予算と令和６年度に前倒しを行う事業費を合わせた令和７年度の実質的な予算規模は、「５８４億３，２０６万円」となり、令和６年度の実質的な予算規模「５５４億４，６４４万円」との比較では、「２９億８，５６２万円の増」、率にして「５．４％の増」とするものであります。

次に、当市の市債発行残高であります、現時点において令和８年３月末の市債発行残高は「４９１億３，２１６万円」となり、令和７年３月末の見込み額「５０３億８６８万円」と比べて「１１億７，６５２万円の減」となると見込まれます。

また、臨時財政対策債や合併特例債などに対する国からの地方交付税及び民間企業からの償還金額を財源とする市債を除き、市独自の財源により返済する必要のある市債の実質負担額残高は、令和８年３月末現在で「１２５億７，６８９万円」となる見込みであり、本年３月末現在の実質負担額「１２５億８，５２８万円」と比べて「８３９万円の減」となる見込みです。

以上、令和７年度予算の特徴についてご説明いたしましたが、予算の概要及び主な財政指標等につきましては、財務部長から説明いたします。

（古川財務部長）

引き続きまして、私からは別冊資料№１－２ 資料編により予算の概要及び主要事業について御説明させていただきます。

1 ページを御覧願います。

一般会計予算額と実質的な予算規模につきましては、ただ今市長よりご説明いたしましたので割愛させていただきます。

最下段、「一般会計及び特別会計予算額」の表ですが、一般会計と特別会計を合わせた全会計の予算総額は、「815億8,280万2千円」となり、全会計の予算総額では前年度比「39億8,841万1千円の増」、率にして「5.1%の増」となるものです。

次に2ページをご覧願います。

ここからは、一般会計予算についての内容となりますが、歳入の主な項目についてご説明いたします。

1 款「市税」は、「120億9,331万円」で、前年度比「5.6%の増」と見込んでおります。増額の主な理由は、個人住民税の定額減税の終了によるものであります。同様に定額減税の影響により、10 款「地方特例交付金」が前年度比「81.8%の減」となっております。

11 款「地方交付税」は、「147億1,000万円」、前年度比「0.8%の増」です。内訳としましては、普通交付税に「134億2,000万円」、特別交付税に「12億9,000万円」を見込んでおります。

18 款「寄附金」は、「50億1千円」、前年度と同額ですが、ふるさと納税「50億円」を見込んでおります。

22 款「市債」は、「42億1,390万円」、前年度比「33.3%の増」です。主な起債事業としましては、道路・橋梁の整備・維持事業に「13億6,740万円」、消防防災施設整備事業に「9億2,620万円」、庁舎設備等整備事業に「5億1,200万円」を見込んでおります。

続いて、歳出についてですが、3 ページの目的別は説明を割愛させていただきまして、4 ページの性質別によりご説明いたします。

「義務的経費」は「256億58万8千円」、歳出合計に占める構成比は「44.0%」、前年度比「4.1%の増」であります。

主な増要因であります、「人件費」が令和6年人事院勧告などの増により前年度比「5.8%の増」となる「96億9,512万9千円」に、「扶助費」が児童手当などの増により前年度比「5.7%の増」となる「103億229万8千円」になったことなどによるものです。

「投資的経費」の「普通建設事業費」は「77億182万5千円」、構成比「13.2%」、前年度比「28.4%の増」です。

「その他の経費」は、全体で「248億7,421万2千円」、構成比「42.8%」、前年度比「1.3%の増」です。

企業立地促進奨励事業補助金の減などにより「補助費等」が減少しましたが、基幹系システム標準化関係経費など「物件費」の増、産業団地事業特別会計への「繰出金」の増などにより前年度比「3億1,108万7千円の増」となっております。

次に、5ページを御覧願います。

主な財政指標のほか、主要3基金及び市債の状況を掲載しております。

はじめに、上から2つ目の表、基金の状況であります。財政調整基金につきましては、財源調整のため、「20億3,519万7千円」を取崩すこととし、令和7年度末の残高は、前年度対比「20億2,648万9千円減」の「29億4,725万7千円」と見込んでおります。

まちづくり基金につきましては、産業団地事業特別会計繰出金へ「3億7,000万円」、花巻東高校の野球場等の人工芝化整備へ「7,300万円」などの事業への財源として総額で「4億4,420万円」を取り崩すものであり、令和7年度末残高見込額は、前年度対比「4億3,917万6千円減」の「54億1,011万8千円」となるものです。

3基金の残高合計としては、前年度対比で「26億341万6千円減」の「96億99万2千円」と見込んでおります。

なお、3基金以外にも、令和6年度のふるさと納税の一部、「17億5,000万円」を「イーハトーブ花巻応援基金」に積立て、「15億円」を令和7年度に取り崩して、寄附者の意向に沿った事業に活用しております。詳細は13ページ以降になりますが、後ほどご覧くださるようお願いいたします。

また、3つ目の表、市債の状況についてですが、先ほど歳入の市債でもご説明いたしましたが、総額「42億1,390万円」の発行を予定しております。

このうち、合併特例債について、欄外の※印に記載しておりますが当市の発行可能額は「389億6,820万円」となっており、令和7年度に発行を予定している「1億4,580万円」を加えた令和7年度末までの発行総額は「315億2,230万円」となりますことから、令和8年度以降に活用できる発行可能額は「74億4,590万円」と見込んでおります。

一方、償還元金は、「53億9,041万8千円」を予定しており、令和7年度末の地方債残高は、今年度末残高見込み額対比で

「11億7,651万8千円減」の「491億3,216万3千円」となります。これを、令和7年1月末現在の人口8万9,656人により市民一人当たりの残高を試算いたしますと、「54万8千円」となるものです。

6ページ以降は、令和7年度予算の重点予算と重点施策推進プロジェクトについての説

明となりますが、詳細は後ほど資料をご覧くださいことといたしまして、重点予算及び各プロジェクトの概要のみを説明させていただきます。

まず、令和7年度の重点予算「市民の暮らしを守る 多彩な支援策で 安全のまちづくり」の主要な事業について、第2次まちづくり総合計画前期アクションプランの6つの分野別に概要を説明いたします。

「(1) しごと」では、「37億2,353万円」、5つの事業を掲載しております。なお、主要な事業のみを掲載しておりますので、掲載している事業の合計額とは一致しない場合があります。

「(2) 暮らし」では、「80億7,878万円」、5つの事業を掲載しております。

7ページになりますが、「(3) 健康・いのち」では、「110億5,439万円」、9つの事業を掲載しております。

8ページになりますが、「(4) 子育て・ひとづくり」では、「92億6,121万円」、6つの事業を掲載しております。

「(5) 地域づくり」では、「7億7,869万円」、3つの事業を掲載しております。

「(6) 行政経営」では、「33億3,464万円」、3つの事業を掲載しております。

次に9ページになりますが、重点施策推進プロジェクト1の「子ども・子育て応援プロジェクト」についてであります。プロジェクトを構成する7つの内容のうち、5つの内容についての予算額の合計額と、主要な事業を掲載しております。

「(1) 妊娠・出産・子育てに関する相談・支援体制の充実」については「4,167万円」、3つの事業を掲載しております。

「(2) 周産期医療の維持確保」では、「6,798万円」、3つの事業を掲載しております。

「(3) 妊娠・出産・子育てに係る経済的支援の充実」では、「27億557万円」、9つの事業を掲載しております。

10ページになりますが、「(4) 子どもの学習支援」では、「3億2,622万円」、5つの事業を掲載しております。

「(5) 子育てしやすい環境の充実」では、「56億9,008万円」、6つの事業を

掲載しております。

11ページになりますが、重点施策プロジェクト2の「花巻で暮らそうプロジェクト」ではありますが、プロジェクトを構成する7つの内容について説明します。

「（１）移住・定住に関する相談体制の充実」では、「2,604万円」、2つの事業を掲載しております。

「（２）移住・定住支援の充実」では、「5億9,595万円」、6つの事業を掲載しております。

「（３）結婚支援の充実」では、「1,538万円」、3つの事業を掲載しております。

12ページになりますが、「（４）魅力ある商業エリアの創出」では、「4,303万円」、2つの事業を掲載しております。

「（５）働く場の確保と所得の向上」では、「17億7,288万円」、7つの事業を掲載しております。

「（６）企業や地域の意識改革の推進」では、「208万円」、1つの事業を掲載しております。

「（７）シビックプライドの醸成」では「3,065万円」、2つの事業を掲載しております。

13ページになりますが、ここからは令和7年度のふるさと納税「50億円」及びイーハトーブ花巻応援基金「15億円」を活用した事業名、事業費及び充当額を掲載しております。

以上、概要のみをご説明いたしましたが、詳しい事業内容については後程ご覧くださるようお願いいたします。

以上で、令和7年度花巻市当初予算（案）の説明を終わります。

（岩間総合政策部長）

説明が終わりました。この内容について確認しておきたいこと等ございましたら、挙手のうえ発言をお願いします。

よろしいでしょうか。それでは説明の（１）令和7年度一般会計予算等についてはこれで説明を終了させていただきます。